

世界の高レベル放射性廃棄物処分計画

(2024年12月末時点)

国名	実施主体	対象廃棄物	処分量	処分サイト(候補)および岩種	処分深度	操業開始 予定時期
フランス	放射性廃棄物管理機関 (ANDRA)	高レベル・ガラス固化体	11,800m ³ (全量再処理の場合)	ムーズ県及びオート＝マルヌ県の11自治体 (ピュール地下研究所の近傍) 岩種:粘土層	約500m	2040年代
日本	原子力発電環境整備機構 (NUMO)	高レベル・ガラス固化体	40,000本以上	サイトは未定 岩種:未定	300m以上	未定
ベルギー	放射性廃棄物・ 濃縮核分裂性物質管理機関 (ONDRAF/NIRAS)	高レベル・ガラス固化体と 使用済燃料(カテゴリーC)	11,700m ³ (再処理ケース)	サイトは未定 岩種:未定	未定	2080年
スイス	放射性廃棄物管理共同組合 (NAGRA)	高レベル・ガラス固化体と 使用済燃料	1,490m ³	北部レゲレン 岩種:オパリナス粘土	約800m	2060年頃
アメリカ	エネルギー省 (DOE)	使用済燃料 (商業用が主) 高レベル・ガラス固化体 (国防用が主)	70,000t (ウラン重金属換算)	ネバダ州ユッカマウンテン (放射性廃棄物政策法) 岩種:凝灰岩	200m~ 500m	2048年
ドイツ	連邦放射性廃棄物機関 (BGE)	高レベル・ガラス固化体と 使用済燃料	27,000m ³ (体積値は、 廃棄物容器を含む量)	サイトは未定 岩種:未定	300m以上	未定
フィンランド	ポシヴァ社	使用済燃料	6,500t (ウラン換算)	エウラヨキ自治体オルキルオト 岩種:結晶質岩	約400m~ 450m	2020年代
スウェーデン	スウェーデン核燃料・ 廃棄物管理会社 (SKB)	使用済燃料	12,000t (ウラン換算)	エストハンマル自治体フォルスマルク 岩種:結晶質岩	約500m	2030年代